

キャリア教育だより

群馬県立聾学校 進路指導部

令和6年10月25日発行 No.3

高等部 進路講演会 8月29日

昨年続き、今年度も進学・就職部会と福祉部会の2本立てで実施しました。進学・就職部会では、(株)SUBARUの人事部の上田様から仕事内容や福利厚生についてのお話をいただきました。前向きでチャレンジ精神がある人物像について、「ただ不満や自分の要求を主張するのではなく、どのようにしたら課題や困難が改善されるのかを考えたり、具体的な改善策を提案したりすることが大切である」とのお話に、「自分を振り返ることができた」「今からでも身につけようと思う」などの感想が聞かれました。また、高校卒業後に進学する生徒が増加していることで、高等部在学中には就職活動に関する指導が不足している現状から、ハローワークの役割について、前橋公共職業安定所の蜂須賀様と就職支援ナビゲーターの金井様にご説明いただきました。生徒からは、「就職を始める上で必要なことをしっかり知ることができて良かった。」「就職することに関して不安があったが、サポートがしっかりなされていることが分かって少し安心できた」などの感想がありました。



福祉部会には、A型事業所、B型事業所、共同生活援助(グループホーム)、相談支援事業所の担当者をお招きして、それぞれの施設の特徴や受けられるサービス等についてご説明をいただきました。実際の施設の写真や作業の様子などを詳しくお話いただき、生徒たちも就業体験での経験と合わせてイメージが持ちやすいようでした。質疑応答では、「働くときに大切なことはなんですか」「休日の外出や通院の時など支援は受けられますか」など卒業後の生活を意識した質問ができていました。

高等部 事業所見学会

9月11日、生活コースの1、2年生3名が高崎(すまいる柴崎、ウエルク高崎)と伊勢崎(めーぷる)の就労支援事業所3か所の見学に行きました。すまいる柴崎では、事業所内での作業だけでなく、施設外就労として実施している公共施設の清掃の様子も見せていただきました。熱気がこもった体育館内で汗を流しながら床のモップ掛けをしたり、清掃する箇所に応じて雑巾を変えてトイレ清掃をしている様子に、生徒たちは働くことの大変さと指示を守ることの大切さを実感したようでした。めーぷるでは、隣接しているグループホームについての説明も受け、卒業後の生活の場について知ることができました。



普通科普通コースと情報デザイン科の1、2年生は、9月12日にコーセイインダストリーズ株式会社と日野自動車株式会社新田工場を見学しました。コーセイでは、聾学校の先輩2名が自分の仕事について説明してくれたり、検査教育の体験(異なる25色をグラデーションになるように並べ替える)で手本を見せてくれたりしたことで、商品ができるまでに数多くの人が携わっていることや仕事に対する意識などについて驚きと尊敬の気持ちを持ったようでした。

日野自動車でも本校の卒業生の仕事の様子を間近で見せてもらったり、懇談会で日野自動車に入ろうと思ったきっかけや仕事での苦労などについて直接



質問できたりして、働くことへの意識が高まったようでした。

両日の経験を踏まえて、12月には実り多い就業体験ができることを期待しています。

中学部 高等部体験入学

9月5日に中学3年生は高等部の体験入学に参加しました。社会や数学などの座学から、プログラミングや作図、清掃などの実習など幅広い体験ができました。

実際に高等部で学んでいる先輩たちからのアドバイスや指示を受けながら、作業の確認や報告まで、実践的な体験をすることができました。自分たちの進路に向けて、また一歩具体的なイメージを膨らませることができたことと思います。中学生にとっては初めての受験、初めての主体的な進路選択。将来や志望先をより深く考える貴重な経験となりました。



小学部 交通安全教室・社会科見学

9月20日に、4年生は児童文化センターで行われる交通安全教室の学習に参加しました。児童が一人で自転車に乗り始める時期に合わせて、自転車操作の習熟を図りました。適切な安全確認を行うことで危険を回避し、安全に自転車に乗ることができるよう、実際の自転車走行を想定した場面での指導をしていただきました。3年生は、社会科で学習する「工場ではたらく人と仕事」と「昔の暮らし」の一環として、新進利根川工場と上川淵郷土民俗資料館に見学に行きました。働く人たちの様子や施設を見学したり昔の道具体験をしたりして有意義な学習になりました。



幼稚部 修了生のお母さんの話を聞く会

10月17日に小学部1年生 石田さんのお母さんと、幼稚部修了後に地域の小学校に入学した田子さんのお母さんを講師に招き、幼稚部在籍中に大事にしてきたことや頑張ったこと、就学に向けてやっておいた方が良いこと、

地域とのかかわりについてお話をしていただきました。当日は多くの幼稚部保護者や、乳幼児教育相談を利用している保護者も参加し、熱心に話を聞いていました。後半はグループに分かれ、幼稚部の学習で使った手書きの絵日記を見せていただきながら、情報交換をしました。就学先を決めるときの決め手について質問したり、悩んでいることや困っていることについてのアドバイスをいただいたりしました。参加した保護者からは、「絵日記の内容や書き方など参考になった」「幼稚部時代に頑張った話を聞き、身が引きしまった」などの感想をいただきました。



寄宿舎 健康教育

寄宿舎では「健康に過ごすための環境作り」というテーマのもと、将来の自立に向けた取り組みを行っています。寄宿舎全体で課題となっ

ている部分を目標として設定しており、今回の目標は「寄宿舎における衣類整理」としました。制服や私服の管理と洗濯物の干し方について指導員が説明を行い、その後は各自がチェック表をもとに自己確認をしています。今回の健康教育を通して舎生が衣類をハンガーに掛けられるようになったり、洗い終わった洗濯物をすぐ干せるようになったりと変化が見られています。

